

令和7年度 地区懇談会 アンケート集計結果(寿東部地区)

開催日

6/23(月)

アンケート回答件数	46
当日参加者数(地域)	46
回答率	100.0

名
名
%

年代

20代	0
30代	0
40代	2
50代	3
60代	16
70代	19
80歳以上	5
未記入	1
計	46

地域との関わり

自治会町内会役員	40
各種委嘱委員(民生委員、青少年指導員等)	2
ボランティア活動・市民活動団体	0
その他	3
未記入	2
計	47
■その他 ・町内会会員	

1 地区懇談会に参加してみて、いかがでしたか

満足	19
やや満足	17
どちらともいえない	6
やや不満足	2
不満足	0
無回答	2
計	46

■理由

<満足>

- ・他の町内会との意見交換や意思疎通ができた
- ・色々な意見交換ができて良かった
- ・心配事が増えた。外国人を助ける前に災害時に横浜市や南区がどこまで準備してくれるのか、全く情報が入ってきていないことが分かった
- ・防災以前に寿東部地区に共通する問題が浮き彫りになってよかった
- ・浅野会長作成のパワポが素晴らしい。グループの意見交換も活発で良かった

<やや満足>

- ・災害情報ナビの存在を知ることができた
- ・電子回覧板で多言語に対応できるとよい
- ・外国人との交流というテーマが難しい
- ・グループの話し合いの課題が大きすぎ。身近な取り組みの課題が良かったのではない

- ・活発な意見が出るほど思うことが多々あった
- ・各町内会の話聞けるのは良いが、いつも同じ方。このような場に外国籍の方も参加してほしい

<どちらともいえない>

- ・多文化共生防災ネットワークは確かに必要ではあるが、町内の老人等の避難をどうするかが優先ではない
- ・交流のない外国人との防災は難しい
- ・意見が出てもそれが次の地区懇談会にどの程度受け入れられているか分からない
- ・有意義な議論ができた一方で、確実な結論が出ない歯がゆさが残った
- ・話し合いの時間が少ない。パワーポイントを見て終わった感じがする
- ・理想と現実の違いが明確になっただけで、実際どう変えて行けるのかの回答は得られなかった

<やや不満足>

- ・理想論ばかりで現実的ではない
- ・今回の議題の前段階の問題があるのでは(信頼関係を築くためのコミュニケーション)

2 今後、地域で共有したい課題やテーマはありますか(複数回答)

今後の地域活動の進め方	20
地域人材の育成・発掘	26
子ども・子育て支援	10
高齢者支援	10
防災	18
安全・安心	14
その他	0
計	98
■その他	

3 御意見、御要望

- ・多文化共生に違和感がある
- ・外国人が嫌いなわけではないけどもう少し日本のルールをはっきり言ってほしい。だんだん住みにくい町になりそう
- ・寿東部地区多文化共生防災ネットワークと町内会の関係は何か
- ・普段から交流をしないと、災害時だけでは多言語の案内板くらいしかない。外国人にもルールを知ってもらいたい
- ・多文化共生防災ネットワークの必要性が理解できた
- ・外国人居住者を把握しなければ関係構築が難しい。これを町内会にやらせるのであれば町内会に入ったときのメリット、必要性を多言語ポスター等で積極的に広報を、行政がやるべき
- ・回覧板を電子化(アプリ)してもらいたい。紙の回覧板を望まない人が増えてきた
- ・多文化共生防災ネットワークと一緒に参加したいと思う
- ・多言語で防災に関するカード等を町内会役員だけでも持っておいて、いざという時に役立てたい
- ・多文化共生防災ネットワークの方々が一生懸命働かれているのは素晴らしいと思いますが、外国籍の方による治安の悪さ、不法滞在の増加など国や行政で対応することが第一ではないか
- ・多言語に対応したアプリやウェブサイトの作成は良い考えだと思う
- ・災害はいつ起こるか分からないため、市職員や区職員もそれぞれ家族がいるので、まずは自分自身を守り、どのような行動をとれば良いのか考えることが大切
- ・外国人に限らず、地域の結びつきが弱くなっている。防災だけピックアップする前にそれ以前の問題解決が必要
- ・外国人だけではなく、若い日本人の住民も含めて希薄になっている町内会のつながりをどうしていくか、それが防災の問題を解決していくカギだと思う
- ・外国人が町内会行事に参加するよう声掛けしてほしい。